

ロボット研究の展望

～情報提示システム・人体への評価法の紹介

首都大学東京には、現在の都市社会に必要なシステムだけでなく次世代や近未来の実現を目指す様々なシステムを、数理的、システム工学的なアプローチはもちろんのこと、人間の感性を重視したデザイン工学的なアプローチからも教育研究するシステムデザイン学部があります。

今回は本学から4名の講師を迎えて、生体工学やロボット工学、情報提示システムについて、下記テーマで産学連携を視野に入れた成果・内容の講演をお願いします。

つきましては、日頃より ロボットの設計・製作および運転に関する研究や関連ビジネスの展望、また首都大学東京との「産学連携」に高い関心をお持ちの貴社へ、ビジネスへの一助となりますよう、ご案内を申し上げます。

[参加申込書](#)

[会場案内](#)

[開催要領](#)

◆講演会

テーマ①「屋内位置情報とスマートフォンを用いた情報提示システム」

講師：下川原 英理 氏 システムデザイン学部 情報科学科 助教

講演概要：位置情報は有用な情報ですが、屋内ではGPSの利用が期待できません。そこで、Bluetoothを用いたビーコン技術が着目されています。今回の講演では、屋内位置情報に加えて、スマートフォンの加速度センサを用いた情報提示システムについてお話しします。

テーマ②「人間工学からみた身体作業の快適性評価」

講師：瀬尾 明彦 氏 システムデザイン学部 機械システム工学科 教授

講演概要：人は、生活や仕事のあらゆる場面で体を使います。その際、過剰な負担がかかると、人は不快に感じたり腰痛や肩こりを発症したりします。そこで人間工学の観点から、人の身体への負荷を把握して快適な生活・作業環境を実現するための評価法を紹介します。

テーマ③「産業育成を目的としたコンテスト方式によるサービスロボット技術の開発 “Future Convenience Store Contest”」

講師：和田 一義 氏 システムデザイン学部 機械システム工学科 准教授

講演概要：本講演では、身近でかつ実用的な課題を設定することにより、サービスロボット関連技術の革新を促す取り組みである、コンビニ店舗における各種業務の自動化を対象としたロボット技術コンテストを紹介します。あわせて、経産省&NEDO主催のイベント World Robot Summit についても紹介します。

テーマ④「技術と発想で新しい「何か」を創造するロボット研究開発」

講師：武居 直行 氏 システムデザイン学部 機械システム工学科 准教授

講演概要：すぐに役立つロボットから、すぐには何の役に立つかわからないロボットの的なものまで、作って・動かして・壊して・調べて・直して、技術と発想で新しい「何か」を創造したいと考えています。本講演では、これまでの取り組みを紹介します。

◆ポスターセッション パネル展示と質疑応答

◆交流会 参加者全員による立食形式の懇親会

日時：2018年 11月7日（水） 13:30～18:00

会場：首都大学東京 日野キャンパス 2号館 大講義室B

参加費：無料（交流会を含む）

定員：80名程度

締切：2018年 11月2日（金） 但し、定員になり次第締切ります

主催： [公立大学法人 首都大学東京](#) / [公益財団法人 日本ロボット学会](#)

× Cancel

中止

✓ Capture